

授業改善の視点	「自分の考えを整理，深化させる活動の工夫」
---------	-----------------------

英語科（コミュニケーション英語Ⅰ）学習指導案 普通科1年	
単元名	CROWN English Communication I Lesson 7 <u>Paper Architect</u>
レッスンのねらい	<p>(1) 被災者救済のために生きる建築家，坂茂氏の半生が書かれた本文の内容を理解し，述べられている事実を問う発問に英語で答えることができる。</p> <p>(2) 本文では直接述べられていない内容を問う発問に対して，文脈や想像力を使って，自分の考えを日本語や英語で述べるができる。</p> <p>(3) ピアとの対話を通して，発問に対する考えを深め，より客観的な視点で物事を捉えることができる。</p> <p>(4) 与えられた話題について客観的な視点から，複数の根拠に基づき，自分の考えを複数段落から成る英文で書くことができる。</p>
レッスンの流れ	<p>全 10 時間</p> <p>Part 1 （3時間） オーラル・イントロダクション，本文の内容理解，受動態を含む過去完了形の理解，“Few Japanese people are religious”への賛否を述べるエッセイ・ライティング</p> <p>Part 2 （2時間） 本文の内容理解，“What is the most valuable occupation at the time of a disaster?”に対する意見を述べるエッセイ・ライティング</p> <p>Part 3 （2時間）一般動詞 seem の理解 本文の内容理解，</p> <p>Part 4 （2時間） 本文の内容理解，“What makes a person mature?”に対する自分の意見を述べるエッセイ・ライティング</p> <p>まとめ （1時間） レッスン全体のまとめ</p>
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・エッセイを書かせるためのワークシート（答案用紙） ※A4版1枚で作成。 ・「エッセイ評価シート」 ※エッセイを評価する規準と尺度が書かれた簡易版ルーブリック。各校の Can-do リストを基に作成する。

本時のねらい (第4時)

- ・与えられた発問について、複数の根拠に基づき、自分の考えを話したり書いたりすることができる。
- ・ピアとの対話により、自らの考えを深め、より客観的な視点で自分の考えを書くことができる。

生徒に示す本時のねらい

「震災時に最も価値ある職業は何だと思うか」という発問に対する自分の意見を、根拠に基づいて書けるようになる。

指導過程

段階	学習内容・活動	時間 (分)	◇指導上の留意点 ◆評価規準
導入	<p>1 Greeting</p> <p>2 Reading comprehension check</p> <p>前時の内容の復習として、ワークシート内にある発問の解答を作成し、ピアと確認する。</p>	8	<p>◇本時の主な内容を提示する</p> <p>◇ペアで答えのすり合わせをさせてから解答を答えさせる。</p> <p>◆本文内の英文を根拠にして、ワークシートの発問に対する解答を作成できる。</p>
展開	<p>3 Thinking and speaking in pairs</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師から発せられた “What is the most valuable occupation at the time of a disaster?”という発問に対する自分の意見をまとめ、その根拠を考える。 ・その後、ピアとの対話の中で、自分の考えを英語で伝える【対話1】。 ・上記3と同じ作業を別のピア2人と行い、自らの意見の根拠や、対立意見となるものを見つける。【対話2】。 <p>4 Essay writing</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話を経て修正した考えを制限時間内にエッセイ形式で書く。 ・ピアと答案を交換し、内容についてのコメントを書き、気づいたエラーに対して下線を引く【対話3】。 	<p>15</p> <p>5</p> <p>10</p> <p>5</p>	<p>◇発問は、はじめ口頭で行い、その後で板書でも提示する。</p> <p>◇考えた意見とその根拠を、ペアに英語で伝えることができるよう準備させる。</p> <p>◇この後に行うエッセイ・ライティングの評価規準を確認させる。</p> <p>◇自分の意見とは対立する意見を発見させ、その意見を覆す根拠を考えるよう指示する。</p> <p>◇【対話1】を経て、必要と感じた修正をした上でエッセイを書くよう指示する。</p> <p>◆相手の考えに対するコメントを英語で書き、単純な文法エラーなら指摘することができる。</p>
まとめ	<p>5 Evaluating one's own essay</p> <p>エッセイ評価シートを使い、自分の答案を自己評価する。</p> <p>※ピアが指摘したエラーを含む文から1文を選び、余白等書き直しさせる。</p>	5	<p>◇ピアからのコメントも参考にしながら、自己評価するよう指示し、自らのエッセイを客観的な視点から振り返らせる。</p> <p>◆自分の考えを適切な構成と表現を用いて書くことができたか【授業後にエッセイを見ながら評価】。</p>
	6 Greeting	2	◇次回の予習の指示をする。